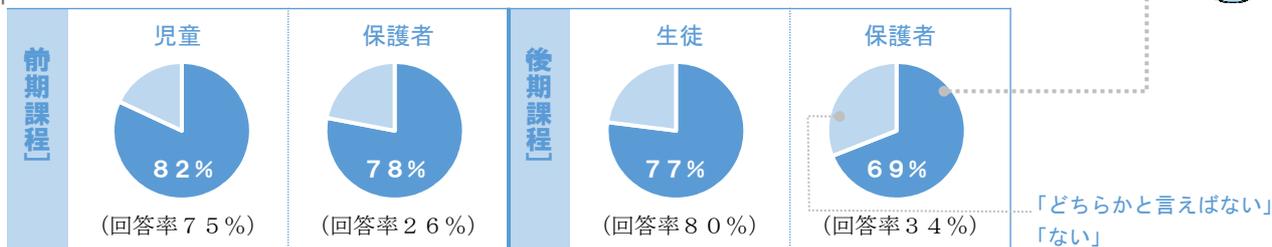


義務教育学校について、「良いことがある」「どちらかと言えばある」と回答した割合



主な意見

	児童生徒	保護者
前期課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな学年と生活して新たに得られるものがある。</li> <li>○後期課程がいることで、目標が分かる。</li> <li>○部活や後期課程の活動の様子を見ることができる。</li> <li>○後期課程との交流がしやすい。優しくしてもらえる。助け合うことができる。</li> <li>○全校集会のとき中学生が最初に入って静かな雰囲気を作ってくれている。</li> <li>○学校が小学生の考えだけではなく、中学生の考えも加わって成り立っていく。</li> <li>○担任の先生がいなくても後期の先生が教えてくれるところがいいところだと思う。</li> <li>○前期と後期の人達が一緒にいることで、皆で大きなイベントをすることができる。</li> <li>○委員会の時、前期の人が困っていると後期課程の人が助けてくれるから安心。</li> </ul> <p>△後期生が少し怖い。 △6年生を終えても後期生になる実感がわからない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な年齢の子どもと関われる。</li> <li>○後期課程の先輩たちの頑張っている姿を見ることができて刺激になる。</li> <li>○後期課程になったらこうしたいという明確な目標が立てやすい。</li> <li>○困ったとき、後期課程の生徒が助けてくれており、自分もこうなりたいと優しさや思いやりが生まれている。</li> <li>○後期課程の先生が前期課程の児童も指導してくれており、後期課程になる不安が減少できる。</li> <li>○運動会などの行事を見ると、中学生までのイメージが児童も保護者も持ちやすい。</li> </ul> <p>△小学校の卒業式がなく、区切りがつけにくい。 △運動会は、前期課程と後期課程で分けた方がいい。</p>
後期課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関わったことのない人やみんなと関わるができる。</li> <li>○上級生が下級生にお手本を見せられる。</li> <li>○1年生から9年生までが団結して一つのことをしているのがいい。</li> <li>○授業で学んだことを他学年に教えることで、いい経験になり学びが深まる。</li> <li>○幅広い学年が交流することで、年齢に合わせた話し方や聞き方などの勉強になる。</li> <li>○ほとんどの人が挨拶を積極的に行っている。</li> </ul> <p>△授業時間がずれていて、うるさいときがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前期課程の児童は後期課程へのイメージを持ちやすく、ギャップも少なくスムーズに後期課程へ移行でき、後期課程の生徒にとっても前期課程の子たちと接することで視野を広く持てる。</li> <li>○小さい学年に関わることで優しさや思いやりなどが育つ。</li> <li>○違う年齢の子どもが集まってくるため、それぞれの立場に立った考え方ができる。</li> <li>○上級生を見て、良いことも良くないことも学び、考えて行動するから。</li> <li>○前期課程の手本になるよう努力していること。</li> <li>○行事や給食、遊びなどで交流できること。</li> <li>○多くの学年で協力し合えること。</li> <li>○入学式、卒業式が1度でいいこと。きょうだいがいるが、参観日や運動会への出席に都合をつけやすいこと。一度に子どもの様子を見ることができること。</li> <li>○年齢の離れている子どもの保護者との交流が増えた。</li> <li>○一人っ子、近所に小さな子どもがいないが、学校で交流できる。</li> </ul> <p>△前期・後期一緒に実施するため、学校行事の内容が薄くなった。 △環境の変化がない期間が長くなるので、気持ちの切り替えが難しくなるのではと思う。</p>